

2023 年度ゼミ（演習 1）要覧

| | |
|---------------------------|--|
| 担当者名 | 浪岡新太郎 |
| 演習テーマ | 多文化主義の政治学:異文化理解という手間について考える |
| 演習の内容 | 各個人の生きる文化の違いを尊重しながら共同生活を送るための技術について学ぶ。文化の違いを尊重するというのは、大変な手間のかかることである。たとえば、日本語話者の中に一人だけフランス語話者がいる場合、どのような配慮が可能だろうか。通訳をつけるのはお金がかかる。みんながフランス語を話すのは大変だ。では、フランス語話者に日本語を学ばせるのだろうか。人数の少ない方が、多い方に合わせる方が正しいのだろうか。その場合、いつも少数者は多数者に合わせるのだろうか。こうした手間について考える。 他大学との交流や他大学や他のゼミの教員をゲストに迎えてのゼミを行う。 |
| テキスト・参考書 | 適宜指示する。参考書として飯田編『多文化主義の政治学』法政大学出版局、2020 年。庄司他編『トランスナショナル・ガバナンス』岩波書店、2021 年。 |
| 成績評価の基準 | レポート提出 30%、授業参加・発言 70% |
| 校外実習 | (実施する) |
| 校外実習を実施する場合、実習地・時期、個人負担額 | フランス 希望者のみの参加(参加しなくても演習への参加は問題ない)、約 35 万円 |
| 選考方法 | 志望動機書の提出と面接 |
| 小論文(テーマ、書式・枚数、提出期限・方法) | 「なぜ浪岡ゼミを選ぶのか」について、1000 文字程度でワードで書いたものを以下のメールアドレスに、申し込みと同日に送ること。 |
| メールアドレス | namiokas@k.meijigakuin.ac.jp |
| 説明会・オフィスアワー | 5/16,5/19 のお昼休みに 12:45 から 30 分の予定で 8 号館 4 階の研究室で行う。 |
| 履修済・履修中であることが望ましい授業 | 議論が終わらなければ授業の延長もあり得るので。したがって、時間に余裕のある学生が望ましい。また、毎回論文を読み、ゼミに参加することになるので 議論が好きな、熱意のある学生に履修を勧める。特に事前に履修しておく授業はない。 |
| 2024 年度に在外研究等で演習を開講しない可能性 | あり |
| 備考 | |